

令和5年度 事業報告

施設名 小金井市障害者福祉センター

1 総 括

令和5年度は途中で所長の交代があり、センターの運営に大きな影響を及ぼしました。福祉センターでは組織化を急務として掲げていましたが、その実行も困難となりました。その為、令和6年度も継続して「組織化」を重点事項として取り組みます。

人材育成では研修担当者の努力の甲斐もあって研修の機会が増え、職員からは概ね好意的に受け入れられ支援の向上に寄与しました。

また、令和5年度は新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の大きな流行も確認されず、穏やかな一年となり、生活介護、自立訓練でも外出活動などは通常期とほぼ同様のスケジュールで実施出来ました。今後も感染対策を適宜施しながら支援を継続していきたいと考えています。

令和6年度は5年間の指定管理の4年目でもある為、次期を見据えながら適切な事業運営に努めていきたいと考えています。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 小金井市障害者福祉センターの組織化

【目標】

小金井市障害者福祉センターの組織化を行います。

【取り組み状況と結果】

組織形成の最中、所長の休職によりそのプロセスが途絶する等、スケジュールを変更せざるを得ませんでした。11月にセンター長が所長へ昇格しましたが、組織化についての遅れは否めず、新たな役職者の再任命までに時間を要しました。ただこの役職者については、令和6年3月に4名をリーダー（副主任相当）に任命し、令和6年度からの新体制に向けて準備を整えました。

なお、会議体制の見直しやコンプライアンスの研修については実施には至りませんでした。

【今後の課題】

令和6年度から新たな役職者と共に新体制を構築し、組織の再編を行っていきます。この際に令和5年度に実施出来なかった会議体制の見直しと、コンプライアンス研修を行い、適切な組織運営を行っていききたいと考えています。

2) 生活介護事業の安定運営

【目標】

職員体制や活動体制を適宜修正し、安定した生活介護事業の運営を目指します。

【取り組み状況と結果】

・各利用者の個別支援計画内容について全支援員が把握し関わるができるよう個別支援計画作成時の会議手順や書式を一新しました。また従来、個別支援計画担当者のみが計画実行の報告を行う等形骸化していた進捗会議を個別支援計画の進捗とご利用者の状態に応じた支援の

見直しや課題を全体で話し合う場であることを再認識してもらうよう会議の進行、会議録の記載内容の見直しを行いました。

会議では計画実行の評価や支援変更に至る自身の考え等を職員が自ら発言し、且つ詳細に記録するよう指導し職員の意識改革を図りました。職員全体の意識改革には至っていませんが、積極的に発言する職員や支援変更に係る会議内容を詳細に記載できるようになった職員、個別支援計画立案時に利用者のニーズを捉えられるようになった職員等徐々にではありますが職員の意識に変化が見られています。

日中活動再編については担当者が中心となり、ご利用者の様子や職員アンケート、他施設見学を通して見えた日中活動の課題の修正を図れるように、活動の再検討を行っているところで

す。生活介護と機能訓練の看護師連携では、医療的ケアを必要とするご利用者に双方の看護師が協力して対応しています。これにより事業間の枠を超え柔軟にご利用者の対応ができるようになりました。

【今後の課題】

個別支援計画作成について職員の意識に変化は見られていますが、一方で新しい職員も増えています。その為、改めて個別支援計画作成にかかる知識を深められるような取り組みを行っていく必要があります。

日中活動では、令和3年度に実施した活動再編が軌道に乗るまで敢えて固定化した活動を行ってききましたが、これにより職員体制や活動内容の柔軟性が失われ、継続性を持った活動が減少してしまいました。その為、日中活動再編担当者が中心となり支援計画との連動や新しい試みへの挑戦、継続性を持った活動提供等、課題解決に向け様々な取り組みを行う必要があります。

3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
—	なし	—

4 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
骨折	1件	3月26日(火) 15:30頃、利用者 Hさんが活動室入口付近で転倒。麻痺のある左手付近を床に打ち付ける。痛みを訴えた為、同日整形外科を受診。左手橈骨骨折との診断。利用者 Hさんに転倒状況を確認すると、「床で滑った」「足元がふらついた」とのことだった為、転倒場所を確認するも床の汚損などは見られず。今後は転倒の恐れがある場所は職員の帯同を求めること、また焦らずに歩行する旨を本人と確認している。

5 職員体制 (令和6年3月31日)

職種	常勤職員	非常勤職員	合計(常勤換算)	法令配置数
管理者	1名	—	1名	1名
サービス管理責任者	2名	—	2名	1名

生活支援員	8名	8名	14.8名	12名
看護師	2名	1名	2.7名	1名以上
栄養士	-	1名	0.8名	1名
療法士	-	4名	1.1名	必要な数
その他	3名	13名	8.6名	-
合計	17名	27名	32名	

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修名・テーマ	講師	参加職種	開催時期	延人員
虐待防止研修	所長	全職員	3月	36名
感染症対策研修	看護師	全職員		

2) 施設外研修

研修名・テーマ	主催	参加職種	開催時期	延人員
自閉症の方々とかかわるための基本	都通研	生活介護支援員	7月	1名
自閉症支援について	東京都発達障害支援協会	生活介護支援員	7月	4名
リスクマネジメント研修	東社協	生活介護支援員	7～9月	3名
介護職員スキルアップ研修	東社協	生活介護支援員	8月	3名
キャリアパス研修	東社協	生活介護支援員	8月	1名
福祉職のためのメンタルヘルス	東社協	生活介護支援員	10月	2名
福祉職場で生かすアサーションマネジメント	東社協	生活介護支援員	10月	3名
福祉現場におけるファシリテーション入門	東社協	生活介護支援員	11月	1名
管理職のためのメンタルヘルス	東社協	生活介護支援員	12月	1名
中堅職員研修	東社協	生活介護支援員	12月	2名
個別支援計画作成について	東社協	生活介護支援員	1月	1名
防火・防災管理講習	東京消防庁	生活介護支援員 看護師	12～1月	2名
強度行動障害支援者養成研修	東京都福祉保健財団	生活介護支援員	1～2月	3名
喀痰吸引研修	東京都福祉保健財団	自立訓練職員	2月	2名

7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区分	利用者延べ数 (利用率)
生活介護 (定員 35名)	7737 (90.9%)
自立訓練 (定員 20名)	437 (15.3%)

8 行事の実施状況

実施日	行事名	参加者			
		利用者	職員	その他	計
4月3日	入所式	33名	17名	1名	51名
4月5日	入所式	32名	18名	1名	51名
5月29日	利用者懇談会	4名	6名	2名	12名
5月19日	多摩地域施設交流会	6名	6名		12名
7月11日	夏祭り	34名	19名		53名
9月1日	プラネタリウムイベント	9名	4名		13名
9月12日	日帰り旅行(井の頭自然文化園)	3名	3名		6名
9月13日	日帰り旅行(井の頭自然文化園)	4名	3名		7名
9月20日	日帰り旅行(井の頭自然文化園)	4名	4名		8名
10月3日	日帰り旅行(西武園ゆうえんち)	3名	4名		7名
10月4日	日帰り旅行(西武園ゆうえんち)	3名	4名		7名
10月11日	日帰り旅行(西武園ゆうえんち)	2名	3名		5名
10月12日	日帰り旅行(西武園ゆうえんち)	3名	3名		6名
10月18日	キャンペーン	31名	19名		50名
10月24日	日帰り旅行(野山北・六道山公園遊びの森・冒険の森)	3名	3名		6名
10月26日	BBQ	5名	6名	2名	13名
10月31日	日帰り旅行(所沢航空公園)	4名	4名		8名
11月1日	日帰り旅行(所沢航空公園)	4名	4名		8名
12月9日	クリスマス会	34名	16名		50名
12月25日	クリスマスイベント	5名	5名		10名
2月2日	節分	33名	17名		50名
3月18日	スポーツ大会(モルリンピック)	4名	4名		8名
年間	外出訓練	18名	23名		41名
年間	ハッピータイム	432名	180名		612名
年間	音楽療法	108名	48名		156名